

代表質問通告表

平成18年第5回沖縄県議会(定例会)

12月15日(金)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
1	64分	外間 盛善(自民党)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	沖縄の将来を担い、県民の期待を一身に背負う沖縄県知事の責任は大変重大である。就任後初めての議会に臨むに当たって仲井眞新知事の政治姿勢を伺いたい。		
2	県政運営の基本方針について		
(1)	組織・人事等について		
ア	仲井眞知事が公約に掲げた14項目の政策について、今後4年間で最大の効果を上げるためには、知事を支える組織・人事等は重要である。政策実現のため組織・人事等で前県政との違いを出すこともあり得るのか、御所見を賜りたい。		
(2)	経済問題について		
ア	仲井眞知事は、選挙戦を通じて県政運営に当たっては稲嶺恵一前県政の基盤の継承を表明している。その中で仲井眞カラーをどのように出していくか、基本的な考え方を伺いたい。		
イ	仲井眞知事は、沖縄を発展させるための県政基盤を確立するため、独立独歩の精神を縦糸に、主体性を持った相互依存を横糸として問題を解決していくと述べているが、経済面に特定した場合、沖縄振興計画の主眼である「自立型経済の構築」と共通すると考える。経済の自立に向けた基本的な考え方を伺いたい。		
ウ	厳しい状況にある県内建設業者の経営環境等を改善し、活性化を図るための方策等について、仲井眞知事の御所見を伺いたい。		
(3)	基地問題について		
ア	普天間飛行場移設問題について、仲井眞知事は、稲嶺前県政の対処方針をそのまま踏襲するのか、考え方を伺いたい。		
イ	仲井眞知事は、政府案のV字型滑走路建設には賛成できないと明言しているが、協議会には参加し国との協議に臨む姿勢は示している。今後の政府との協議に臨む基本的な考え方を伺いたい。		
ウ	仲井眞知事は、普天間飛行場については県外移設がベストだが、県内移設の選択肢もあり得るとしながら、政府の移設現行案には賛成できないとも述べている。普天間飛行場移設問題についての知事の基本的認識と、どのような解決方法を模索しているのか、伺いたい。		
エ	普天間移設について、日米合意により2014年までに完成させるとしているが、期間は8年間しかなく作業が急がれている状況にある。また、普天間の危険性の除去を早期に図るため、3年を目途に閉鎖状態にするよう政府に要請することについて、仲井眞知事の考えをお聞きしたい。		
オ	米軍再編による在沖海兵隊のグアム移転に伴う現地でのインフラ整備に対し、本県の建設業者の高い技術力を踏まえ、沖縄県建設業協会とも連携しながらグアム進出を実現させるべきと思うがどうか。長年基地を受け入れてきた本県に対する配慮があつていいと思うが、仲井眞知事の御所見を伺いたい。		
カ	嘉手納飛行場以南の大規模基地返還の具体化と跡地利用について早期の計画の策定が必要であるが、仲井眞知事が掲げる「大規模跡地における国家プロジェクト」の導入について、考えをお聞きしたい。		

3 重点的に取り組む主な課題について（基地問題以外）

(1) 産業振興と雇用対策について

- ア 今後4年間で本県経済の振興を図り雇用対策を充実するための基本的な考え方について伺いたい。
- イ 仲井眞知事は、「観光客年間1000万人の誘致」及び「完全失業率の全国平均化」について公約されたが、今後実現に向けて具体的にはどのような施策を展開していく考えか、伺いたい。

(2) 財政の健全化について

- ア 仲井眞知事がこれから進める財政の健全化について、どのような対策を講じていくか、考え方を示していただきたい。

(3) 県立病院の医師不足問題について

- ア 出産・子育てに優しい島沖縄の実現を目指すためにも、安心・安全な子育て環境をつくる必要があるが、県立病院の医師不足問題について、仲井眞知事の考える方策を伺いたい。

(4) 農業問題について

- ア 安全・良質な農産物の生産・供給を通して、県経済の活性化を図るためには、亜熱帯気候という地域特性を生かしながら、おきなわブランドの確立と人材育成、生産性の向上が課題となると思うが、仲井眞知事の本県農業振興のための基本的な考えを伺いたい。

4 公約及び基本政策について

- (1) 仲井眞知事は、14項目の公約・基本政策を打ち出したが、施策内容によっては、緊急性を要するもの、短期的・中長期的に取り組むもの等が網羅されているが、具体的な実施に際しては優先順位をつけるなどの実施計画が必要と思われるが、考え方を示し伺いたい。

代表質問通告表

平成18年第5回沖縄県議会(定例会)

12月15日(金)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	34分	新川 秀清(護憲ネットワーク)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	「沖縄から見た平和憲法」「万人が主役」とは高良鉄美教授の著書であります が、「憲法9条を世界遺産に」という提起もあります。世界に冠たると表される憲 法について、知事の所見を伺いたい。		
(2)	米軍再編合意に対する知事の所見を伺いたい。		
(3)	教育基本法に対する評価と、防衛庁「省」昇格法案に対する知事の所見を伺いた い。		
(4)	「県民がゆとりと豊かさを実感できる社会の実現をめざす」と述べていますが、 その具体策を伺いたい。		
2	基本政策について		
(1)	産業の振興と経済活性化で、新たな雇用を創出し、完全失業率の全国平均化を目 指すとしておりますが、具体的施策を伺いたい。		
(2)	世界水準の基盤整備を目指すとありますが、那覇空港の第2滑走路の整備で世界 水準となり得るのか。さらに、港湾等世界水準の規模・財政的裏づけはどのよう なか伺いたい。		
(3)	基地問題について		
ア	普天間飛行場の危険性の早期除去(3年以内)としていますが、その具体策に ついて伺いたい。		
イ	米軍再編による基地の自衛隊との共同使用について所見を伺いたい。		
ウ	嘉手納飛行場等基地の整理縮小についてどう取り組むのか伺いたい。		
エ	基地から派生する公害対策について具体策を伺いたい。		
オ	日米地位協定の抜本的な見直しについてどう取り組んでいかれるか伺いたい。		
カ	返還跡地の利用対策と軍雇用員問題にどう取り組むか具体策を伺いたい。		
(4)	医療福祉について		
ア	子育て支援対策について、多様な施策が求められていますが、具体策を伺いた い。		
イ	格差社会の拡大によって、低所得者、高齢者、障害者、一人親世帯等医療福祉 施策が十分機能していない現実はどう対処されますか。具体策を伺いたい。		
ウ	医師、看護師不足対策について		
エ	児童虐待防止対策についての施策を伺いたい。		
(5)	小学校における1クラス30人学級の導入について具体策を伺いたい。		
(6)	農林水産業の振興について 食料自給率40%は主要国で最低の水準(2005年度)、本県における第1次産業 も幾多の課題を抱えている各部門ごとの振興策を伺いたい。		

- (7) 「世界の宝である自然環境を次の世代に残す」ためには、基地から発生する環境対策が大きな課題であります。さらに、普天間飛行場代替施設建設は新たな自然環境破壊をもたらす最たるものであることは明らかであります。そこで琉球諸島の世界遺産登録の推進ともあわせて自然環境保全の具体策を伺いたい。
- (8) 行財政健全化について
「世界に誇れる行政サービスをめざす」とありますが、何をもって世界に誇れる行政サービスとするのか具体策を伺いたい。

代表質問通告表

平成18年第5回沖縄県議会(定例会)

12月15日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	23分	當山 眞市(公明県民会議)	知事 関係部長等
質問要旨			
1	知事の政治姿勢について		
	(1) 憲法改正について所見を伺う。		
	(2) 教育基本法改正について所見を伺う。		
	(3) 沖縄平和賞の継続について		
2	基地問題について		
	(1) 普天間飛行場の危険性除去について		
	(2) SACO合意による基地返還用地の跡地利用計画と沖縄振興計画の延長による高率補助の継続について		
3	教育行政について		
	(1) 2010年度全国高等学校総合体育大会開催について		
	ア 競技種目の会場選定と競技場の設営状況について		
	イ 選手の育成と監督の選任については早目に行う必要があると思うが、取り組みはどうか。		
	ウ 受け入れのため、観光関連業界との連携はどうか。		
	(2) いじめ、自殺防止対策について		
	ア 平成7年の文部省通知を受けて、どのような取り組みが行われたか。指導は継続しているか。		
	イ いじめの件数は何件か。小・中・高校別に。		
	ウ 自殺者は何人か。		
	エ 全国27都道府県で自殺防止のためのチャイルドラインが設置されているが、本県の取り組みはどうか。		
4	観光振興について		
	(1) 那覇空港の沖合展開を2015年とする仲井眞知事の実現に向けた決意を伺いたい。		
	(2) 58号中南部の渋滞解消のため、西海岸道路の早期完成が必要だと思うがどうか。		
	(3) 酒税軽減措置の延長について		
5	子育て支援について		
	(1) 認定こども園の実施について		
	(2) 病後児保育の増設について		
	ア 次世代育成支援の地域行動計画において、市町村が実施したニーズ調査の結果はどうか。		
	イ 県の実施施設の設置目標は何カ所か。		
	(3) 地域生活支援事業について		
	ア 障害児タイムケア事業の実施について、17年度、18年度の実施状況はどうか。		
	イ 市町村に対する県の指導はどのようにになっているか。		

- ウ 町村の取り組みがおくれている理由は何か。
- エ 養護学校生への就労支援事業の取り組みはどうか。(インターンシップやトライアル雇用等を実施してはどうか)
- (4) 子育て支援事業について
 - ア 認可保育所における定員の弾力化事業について、各市町村における実施状況はどうなっているか。
 - イ 待機児童解消策として、今後の県の指導はどうか。
 - ウ 認可外保育園児への給食費助成にどう取り組むか。
- 6 医療行政について
 - (1) ドクターヘリの配備事業について
 - ア 国の法整備までの間、民間経営のドクターヘリに対し、ヘリポートの確保など協力する必要があると思うがどうか。
 - イ 今後県全域ドクターヘリ救急搬送体制をどのように考えていかれるか伺います。
 - (2) 看護師不足を補うため、他県においてフィリピン人看護師を採用しているところがあるが、本県の医療機関での看護師の状況はどうか。
- 7 国連機関、国際機関の沖縄県誘致について
 - (1) 国連大学・平和構築沖縄研究所の誘致について、県の考えを伺います。
 - (2) 国連機関、国際機関の沖縄県誘致について、県の考え方を伺います。
 - (3) 国連アジア本部の沖縄県誘致について、県の考え方を伺います。
- 8 建設行政について
 - (1) 地元建設業者への受注機会増大策について
 - (2) 国土交通省基準に基づく県道における歩道の幅員確保について
 - (3) 都市モノレールの北伸について

代表質問通告表

平成18年第5回沖縄県議会(定例会)

12月15日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	19分	奥平 一夫(社大・結連合)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	日本国憲法と教育基本法の改正について知事の認識を伺う。		
2	知事の公約について		
(1)	雇用拡大と失業対策について		
ア	8年間の県政運営で稲嶺県政が実現できなかった失業率改善に対する原因と評価、責任について見解を伺う。		
イ	全国並み以下(4.1%)の失業率と4万人の雇用をどのように創出していくのか。その際、若年者の失業率はどうなるのか。その手だてと年次ごとの具体的な計画、数値予測を伺う。		
(2)	観光振興について		
ア	稲嶺県政8年における外国人観光入域客数の推移についての評価と原因について見解を伺う。		
イ	外国人観光客100万人の実現に向けて、その具体的施策の展開と取り組みについて年次ごとの数値目標を明示してください。		
ウ	550万人達成した稲嶺県政からさらに10年後、観光入域客1000万人の実現を公約したが、実現までの観光入域客の年次ごとの数値予測、受け皿となる航空・交通・施設・宿泊等のインフラ整備、人材育成、自然環境・生活環境の保全等どのように進めていくのか、具体的説明を伺う。		
エ	沖縄観光ビジョンで「1兆円の売り上げを目指す」と明確に述べているが、その根拠は何か、具体的に説明をいただきたい。		
オ	沖縄・琉球列島の世界自然遺産登録について見解を伺う。		
(3)	産業基盤整備について		
ア	都市モノレールの延伸と新型路面電車の導入に向けた取り組みについて具体的説明を伺う。		
イ	鉄軌道系を含む交通システムについて検討委員会を設置するとしているが、在任中に鉄軌道問題を計画の俎上にのせるということなのか、具体的に説明を伺う。		
ウ	全県電線地中化構想について、その実効性と予算等含めた具体的計画を伺う。		
エ	知事自身の沖縄電力社長・会長時代における電線地中化事業に対する実績を伺う。		
(4)	基地問題について		
ア	沖縄の60年の基地の歴史認識と現状認識について伺う。		
イ	「基地の整理縮小」について、沖縄の基地は50年・100年先の沖縄の将来においてどうあるべきと考えるのか、知事の認識を伺う。		
ウ	稲嶺県政の基地の過重負担軽減への取り組みについてどう評価しているのか、知事の見解を伺う。		

- エ 知事は県民への過重負担をどのように認識し、軽減へ向けてどのように解決していこうとしているか、見解を伺う。
 - オ 知事は普天間基地の3年以内の閉鎖・危険性の除去をどのように実現していこうとしているのか。また、「危険性の除去」とはどのような状態を示すのか、見解を伺う。
 - カ 知事は、普天間基地の代替として政府が進める「現行のV字型滑走路案では、賛成できない」と発言している。シュワブ沿岸への基地建設には賛成だが、V字型滑走路自体が反対ということか、見解を伺う。
 - キ 普天間基地3年以内閉鎖に伴って代替基地として政府が検討している新基地は、建設に少なくとも8年を要するとしているので対応できないことになる。知事の見解は。
 - ク 知事は、普天間の「危険性の除去」に向けて、暫定ヘリポート機能の整備を含め「あらゆる方策」を検討するとしているが、どのような方策を想定しているか見解を伺う。
- (5) 下地島空港の軍事利用について、知事の見解を伺う。
- (6) 日米地位協定について
- ア 稲嶺県政の日米地位協定への取り組みに対する知事の評価を伺う。
 - イ 知事は、日米地位協定の「抜本的見直し」を公約した。見直しの内容と実効性を明示してください。
- (7) 教育・医療・福祉について
- ア 小学校における30人学級の導入公約に敬意を表します。そこで、実現に向けた取り組みについて、財源・時期・年次計画等、具体的説明と決意を伺います。
 - イ 県立病院における慢性的な医師不足、予想されている看護師・助産師不足にどのように対処していくのか、具体的取り組みと数値目標を伺う。
 - ウ 県民に公約した待機児童の解消、認可保育園に対する認可促進と補助拡大について、時期の明示と数値目標、どこまで踏み込んで補助拡大するのか、具体的説明をいただきたい。
- (8) 離島振興について
- ア 離島地域ではすべての地域と人に一律に提供される「ユニバーサルサービスを目指し、人口増加に努める」と離島振興への決意を述べておりますが、具体的説明と数値目標を伺う。
 - イ 知事の離島医療への見解と緊急を要する医師不足への対応、老朽化した宮古・八重山県立病院の改築へ向けての対応を伺う。
 - ウ 離島振興の上からも宮古・八重山支庁(長)の権限強化こそ必要と考えるが、知事の見解を伺う。
 - エ 下地島空港への対応について、「民間空港としての新たな活用、国際貢献・強力拠点としての利活用」発言は県政トップの発言として大変心強い。決意を伺う。
 - オ 伊良部架橋の2年前倒し完成、新石垣空港建設の2010年開港など威勢のいい発言が相次いでいるが、取り組みへの決意を伺う。
- 3 教育問題について
- (1) 教育基本法改正について見解を伺う。(教育長)
- 4 企業ぐるみ選挙について

- (1) 県民の税金が投資され、県内において独占的な企業が職員を動員しての特定候補者への選挙活動は、法的、社会的、道義的に許されることではないと考える。知事の見解を伺う。
- (2) 期日前投票制度導入の理由と背景について伺う。
- (3) 期日前投票のため、会社の車両で職員を送迎することは公職選挙法に抵触しないか。
- (4) 会社において勤務中に期日前投票を強要することは買収行為に当たらないか。
- (5) 企業や業界が期日前投票のための日計表などを作成し職員を期日前投票に動員することは、公職選挙法違反にならないか。

代表質問通告表

平成18年第5回沖縄県議会(定例会)

12月15日(金)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
5	15分	浦崎 唯昭(県民の会)	知事
質問要旨			
1 政治姿勢について			
(1) 稲嶺知事は、私は沖縄の諸問題を解釈するためではなく解決するために知事になると名言を言われ、2期8年間その言葉は重みを増して県政運営の基本になったと思います。言葉はその時の時代背景を写すと言われますが、仲井眞新知事はこの時代に何をなすために知事に御就任されましたかお聞かせください。			
(2) 知事は、「世界の宝おきなわ力で大躍進」という政策の中で、「独立独歩」の精神と「主体性のある相互依存」ということを基本姿勢の柱に据えております。辞典を引きますと、独立独歩とは他人に頼らず自力で自分の信ずる所を行うこと、また相互依存とは互いに頼りにしあうこととの解釈でありました。まさに相反する言葉のように感じられますが、そのことについて県民にわかりやすい説明をしてください。また、県勢の現在の情勢の中で基本姿勢を柱にして県政運営をしていくと当面どのような展開になりますか。			
(3) 知事選挙の当選証書交付式に阿波連委員長はこのようなごあいさつをされました。「当選の効果は得票数34万7303票のみに限定されず、当県の選挙権者すべて、さらに全県民137万名余の信託を得たこととなります。この事実を厳粛に受けとめられて県民の負託に応えるべく知事の職責を完遂されるよう望みます。選挙運動期間中、仲井眞弘多候補は、一貫して「経済の自立なくして沖縄の自立はない」との信念で公約の柱に県財政の立て直しを据えておられました。現在県債残高は約6519億円、県民1人当たり約47万円となり既に県の予算規模を超えています。財政運営における負の影響は極めて大きい実情にあります。財政の改善は緊急かつ最大の課題であり、財政の立て直しが公約された諸事項の実現の原動力になります。すなわち県民の福祉に直結するものと考えます。よって真っ先に県財政の立て直しに取り組んでもらいたい。」とエールを送られました。まことに名言であり、全く同感であります。今後の県政運営にも示唆を与えるものだと思いますが、知事は選管委員長のエールにどうこたえますか。			
(4) 今知事選は全国的にも注目され、全国のマスコミのほとんどがトップニュースとして報じ、また全国紙の社説でも取り上げられ、異常な関心の高さがうかがえます。このことが何を物語るかは県行政の中でもきめ細かく分析し対応することは、沖縄問題を解決するために大変大事なことだと思いますがいかがですか。			
(5) 基地問題について			
ア 普天間飛行場問題について			
(ア) 移設に係る措置に関する協議会の開催日程はどのように調整されますか。			
(イ) 代替施設建設案について、地元の合意なしで頭越しに協議が進められたことに対して政府に強く抗議するとのことだが、その決意をお聞かせください。			
(ウ) 防衛庁長官が協議に入る前から、3年以内の閉鎖を否定しましたがその行為こそ頭越しではないかと不快感を覚えますがいかがですか。			
(エ) 閉鎖状態を要求すると言われていたが、閉鎖とはどう違いますか。			
(オ) 政府が謝罪をいたし、閉鎖状態となればキャンプ・シュワブのV字型案は容認することもありますか。			
(カ) 移設協議会に臨む前に、地元名護市を初めとする関係市町村との十分な話し合いが必要だと思いますがいかがですか。			